

データ実行防止 (DEP)による Magic の異常終了の対応

マジックソフトウェア・ジャパン株式会社

カスタマーサービス本部 開発部

2005年7月22日

Windows XP SP2 および Windows Server 2003 SP1 では、新たなセキュリティ対策として、データ実行防止機能 (DEP、Data Execution Prevention) が提供されています。これはウイルス防止対策の一つであり、実行不許可 (No execute、NX bit) 属性をもつデータページからの実行を禁止するもので、NXbit をサポートする最近の CPU で実行する場合に有効となります。この機能は、デフォルトでは「重要な Windows のプログラムおよびサービスについてのみ有効とする」となっていますが、これを「すべてのプログラムに有効にする」、という設定にすると(設定の方法は [DEP 設定の確認](#) を参照)、Magic プログラム (mgrntw.exe および mggenw.exe)がエラーを出して異常終了することが弊社で確認されています。

これに対して現時点での対応策として、以下に示すように Magic プログラムをデータ実行防止の対象から除外することにより、実行を続けることができます。この問題は将来のバージョンで改善される予定です。

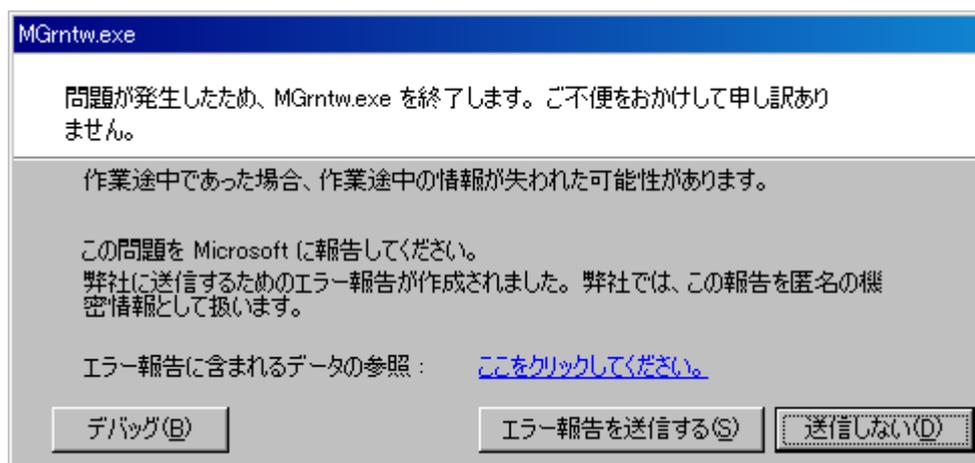
注意: 本文書は、参考情報として、実機を使って弊社で独自に確認した内容をまとめたものです。内容の正確性や、異なる環境条件の下でも Magic 製品が正しく動作することを保証するものではありません。

現象

Magic プログラム (Magic eDeveloper, Magic Client, Magic Application Server とともに) を起動した直後に、以下のようなエラーが出ます。



「メッセージを閉じる」ボタンを押すと、次のような画面が出て、Magic が異常終了します。



問題の発生する条件

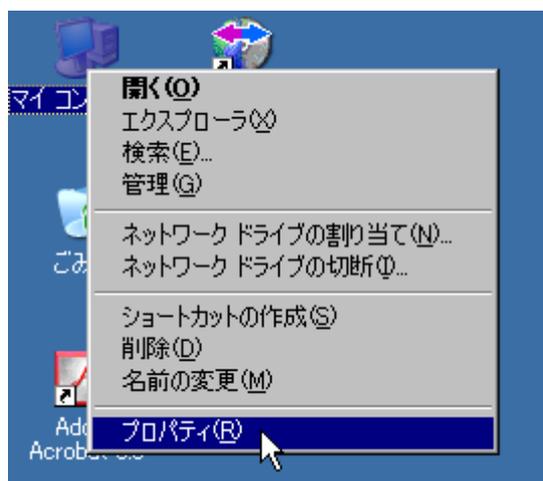
- DEP をサポートする Windows のバージョンを利用している。現在の時点で、DEP をサポートしているのは、Windows XP SP2 および Windows Server 2003 SP1 です。
- NX bit をサポートする CPU を使った PC 上で実行している。最近発売されている CPU はサポートしているものが増えてきていますが、すこし前のものではサポートされていません。[CPU の DEP サポート状況の確認](#)の項を参照してください。
- Magic プログラム (mggenw および mgrntw) が、DEP の監視対象となっている。DEP 監視対象の状況の確認は、[DEP 監視対象プログラムの確認](#)の項を参照してください。除外の方法は、[DEP の除外の方法](#)を参照してください。

DEP 設定の確認

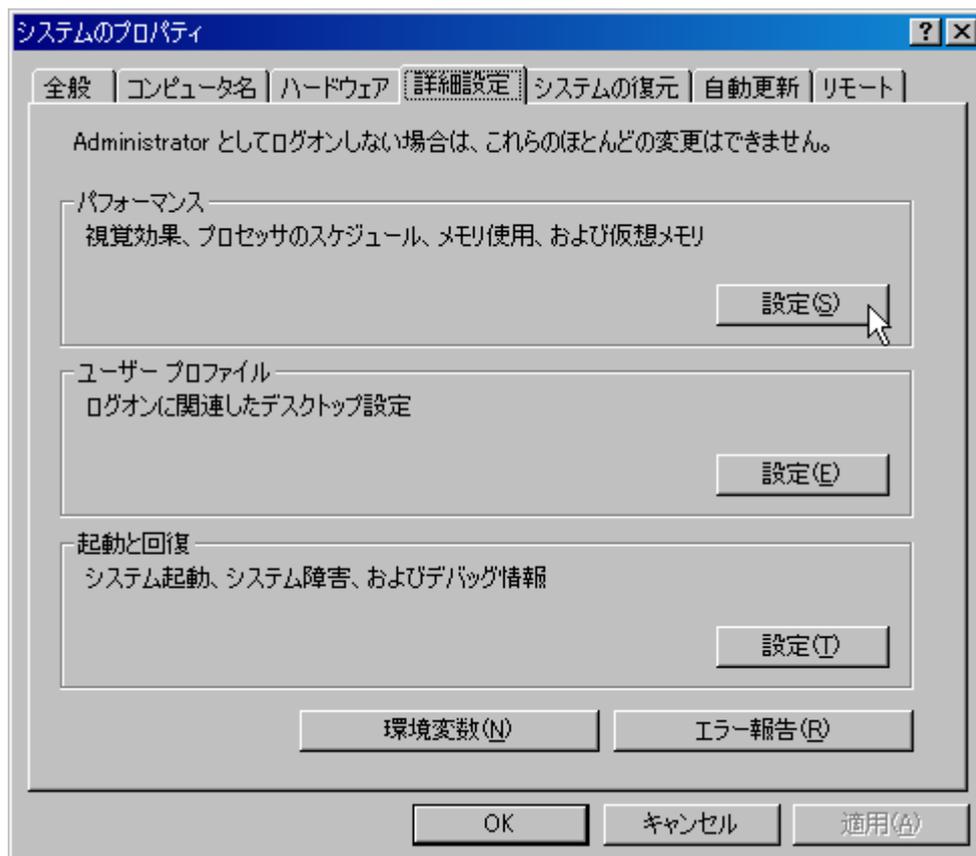
お使いの PC の DEP の設定状況 (CPU がハードウェアで DEP をサポートしているか、およびどのプログラムが DEP の監視対象となっているか) は、次のようにして確認することができます。

(1) データ実行防止ダイアログの開き方

STEP1. デスクトップのマイ コンピュータアイコンから**プロパティ**を開きます。

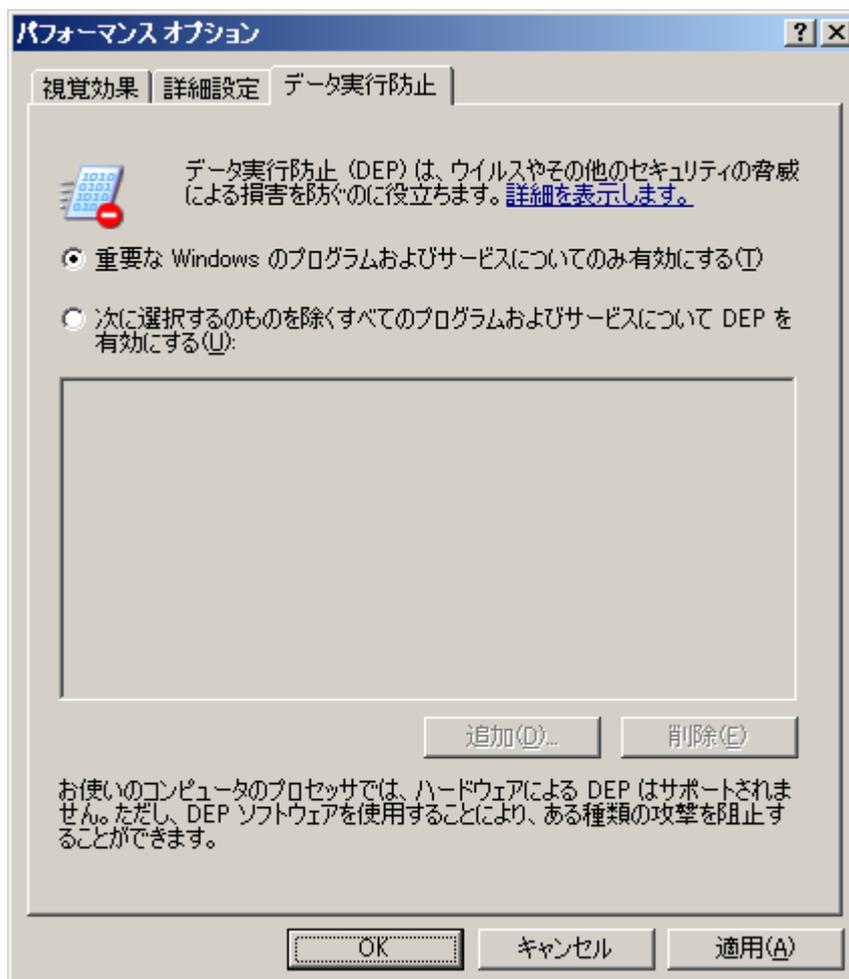


STEP2. システムのプロパティが開きますので、**詳細設定**タブを開き、**パフォーマンス**の**設定**ボタンを押します。



STEP3. パフォーマンス オプションダイアログが開きますので、**データ実行防止**タブを開きます。

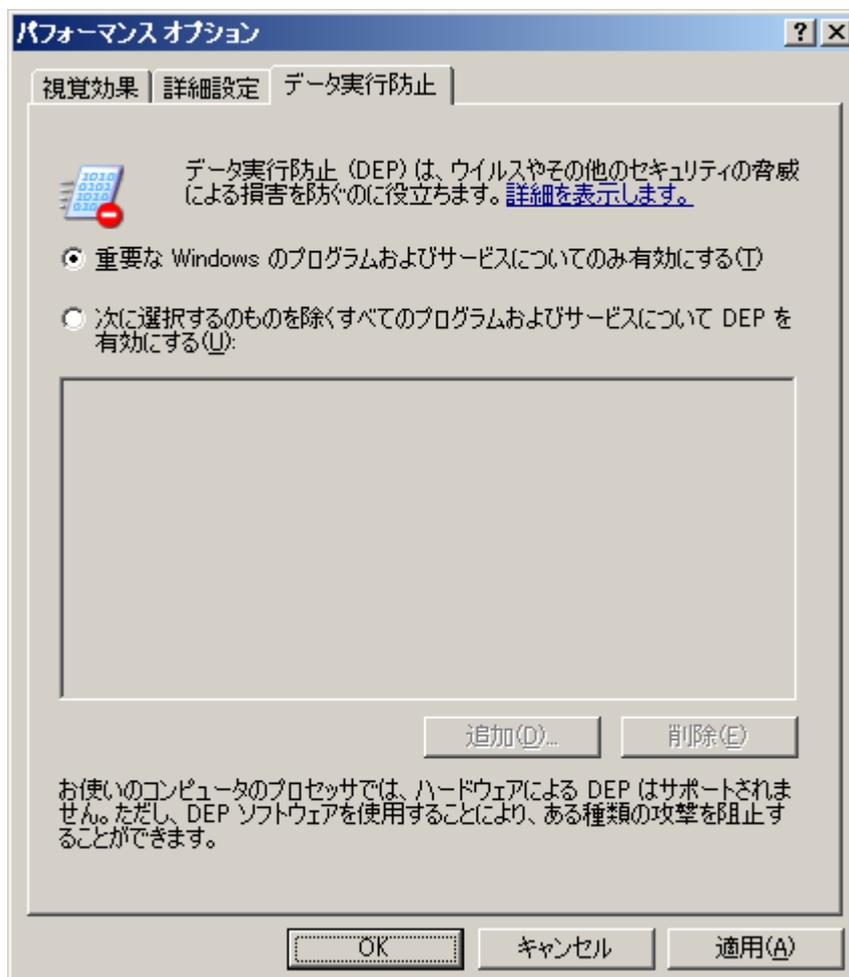
お使いの Windows が DEP 機能をサポートしていないバージョンの場合には、**パフォーマンス オプション**ダイアログに**データ実行防止**タブがありません。



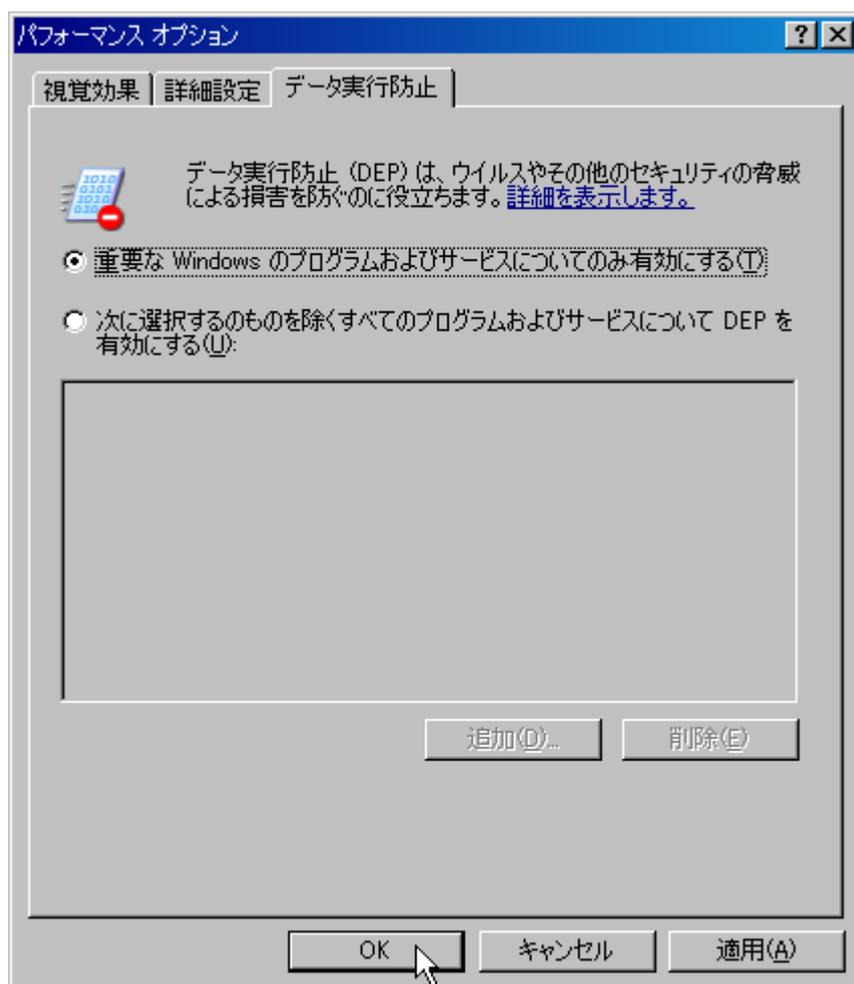
(2) CPU の DEP サポート状況の確認

使っている PC の CPU がハードウェアで DEP をサポートしているかどうかを確認するには、データ実行防止ダイアログを開き、最下段を見てください。

下図のように、「お使いのコンピュータのプロセッサでは、ハードウェアによる、DEP はサポートされません。」と表示されていれば、DEP 機能がサポートされていない CPU です。



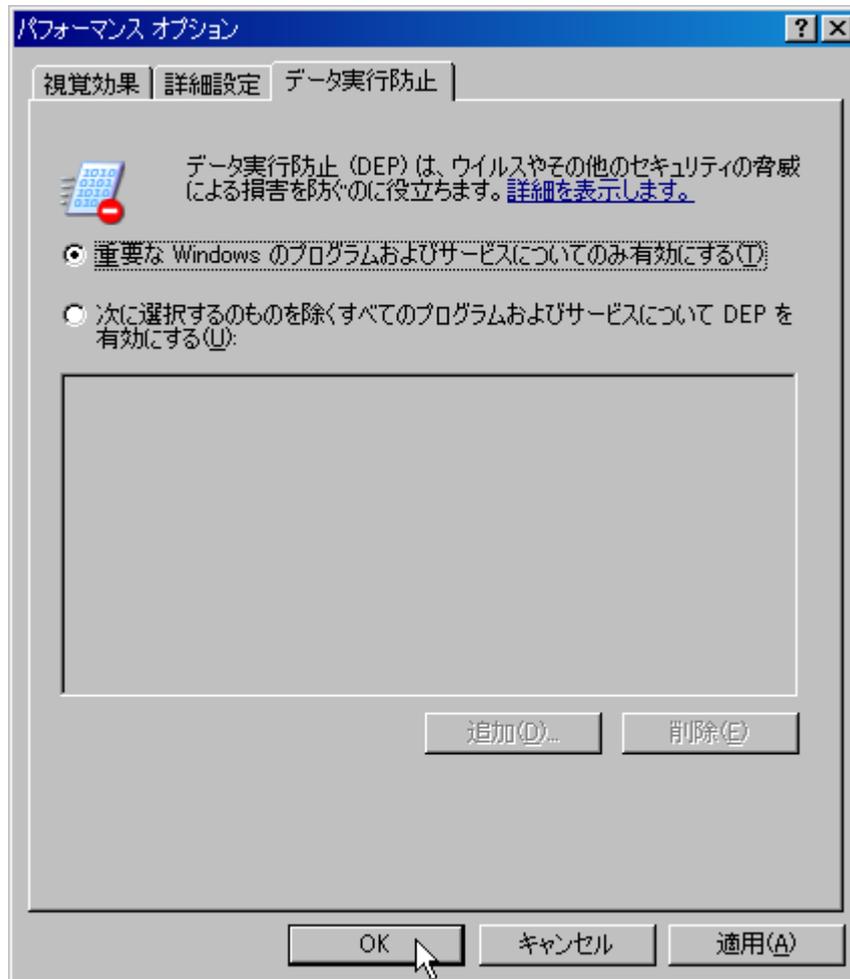
この部分が下図のように空白になっていれば、DEP をサポートする CPU です。



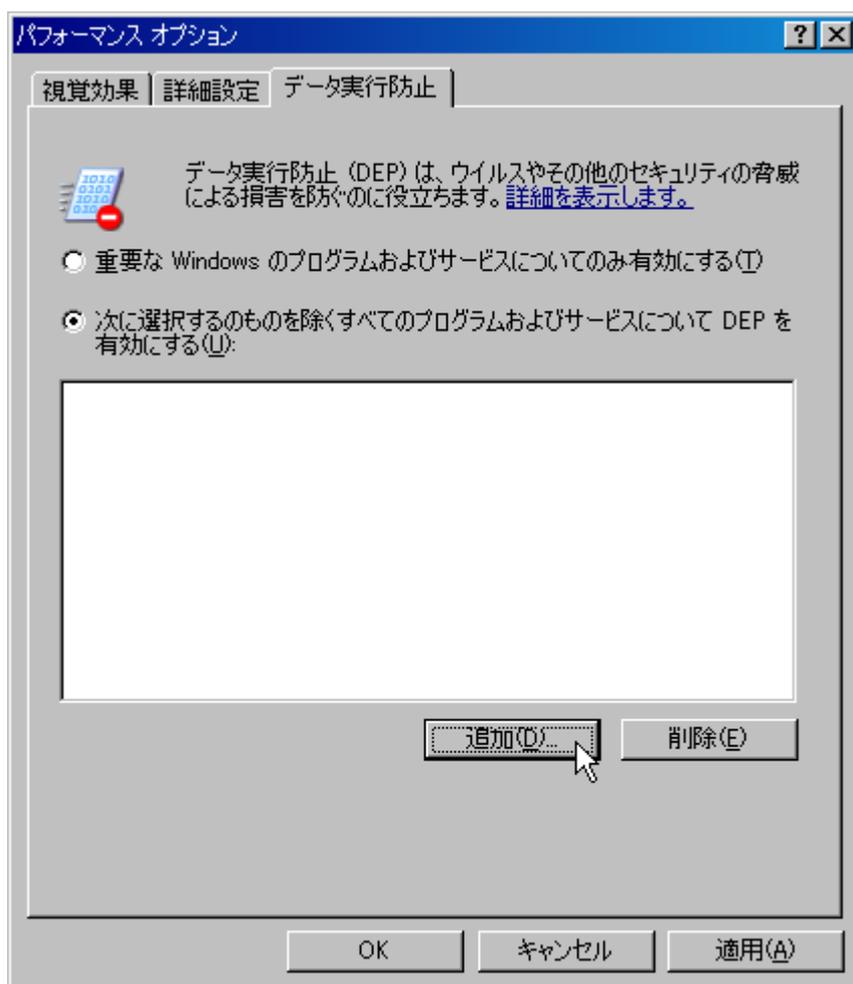
(3) DEP 監視対象プログラムの確認

Magic が DEP の監視対象となっているかを確認するには、データ実行防止ダイアログを開きます。

下図のように、「**重要な Windows のプログラムおよびサービスについてのみ有効とする**」(デフォルト設定)となっている場合には、Magic プログラムは DEP の監視対象になっていません。



下図のように、「次に選択するものを除く…」の方が有効になっていたら、Magic は DEP 監視対象に含まれます。

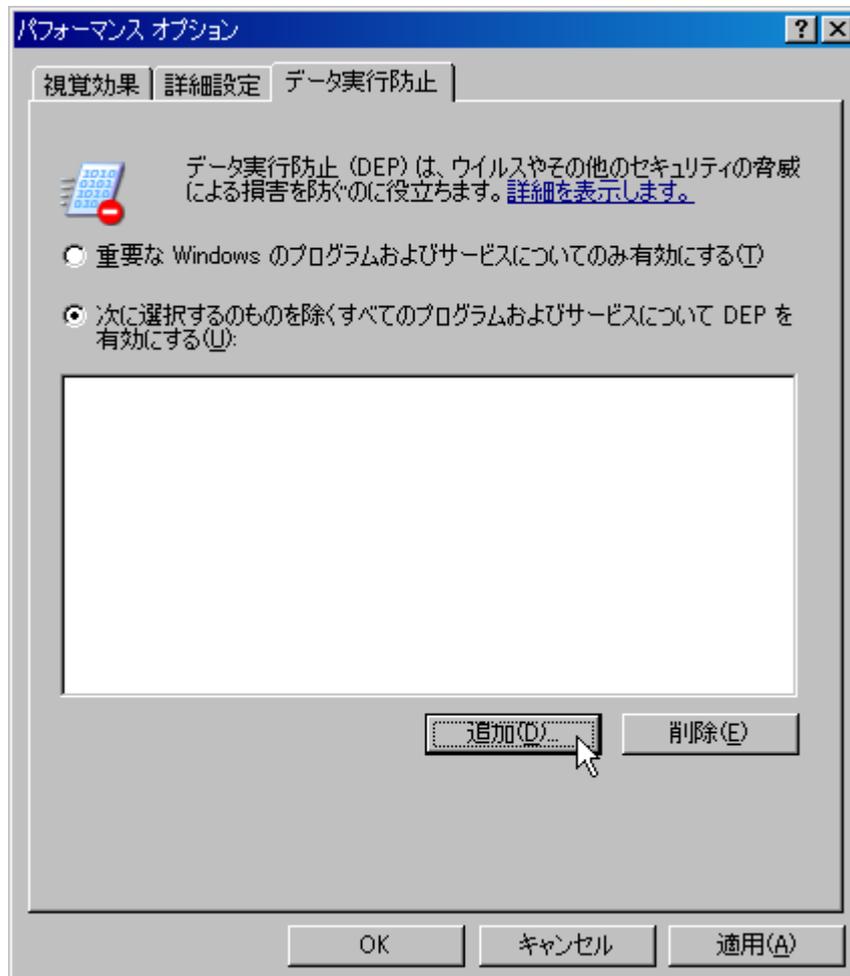


DEP 除外の方法(1)

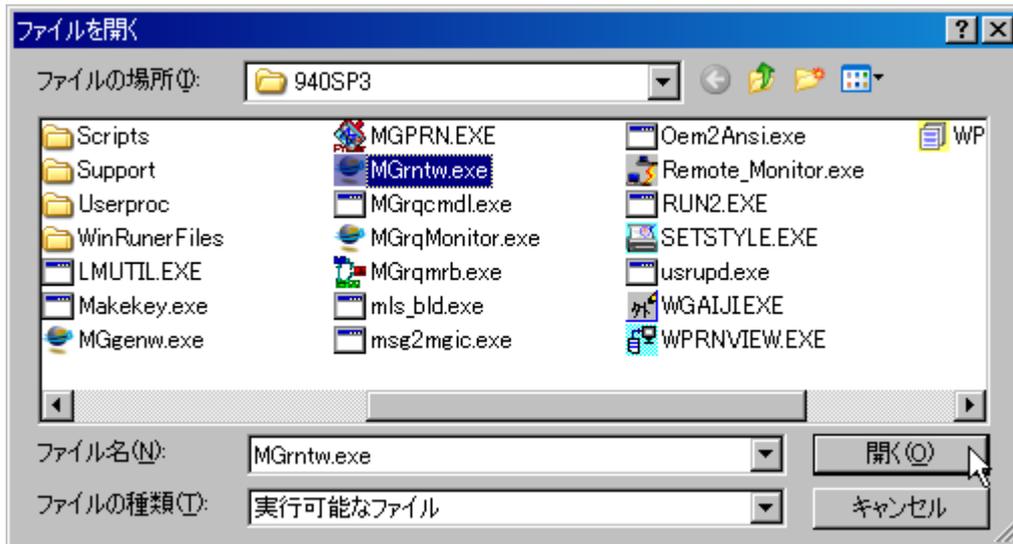
DEP の問題が起こる場合、Magic プログラムを DEP の対象から除外するには、次の方法で設定します。

STEP1. **データ実行防止**ダイアログを開きます。

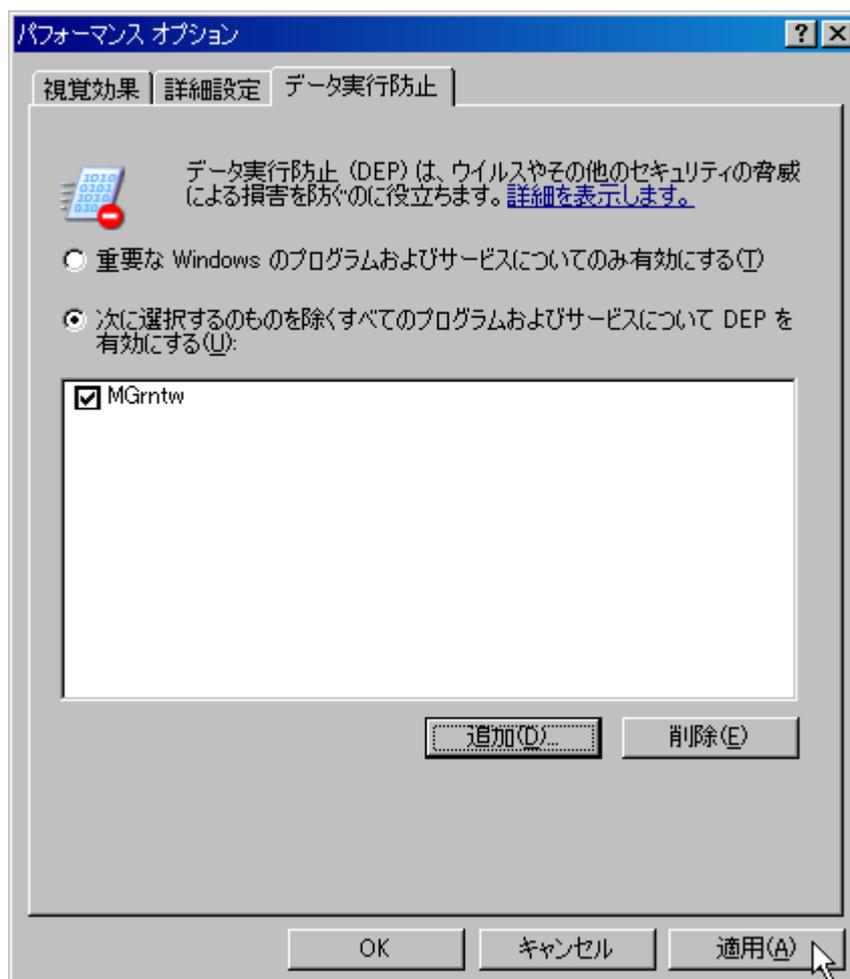
STEP2. **追加** ボタンを押します。



STEP3. ファイルを開く ダイアログが開きますので、Magic をインストールしたディレクトリから MGntw.exe を選びます。



除外リストに MGntw が追加されます。チェックボックス をオンにして、除外を有効にしてください。

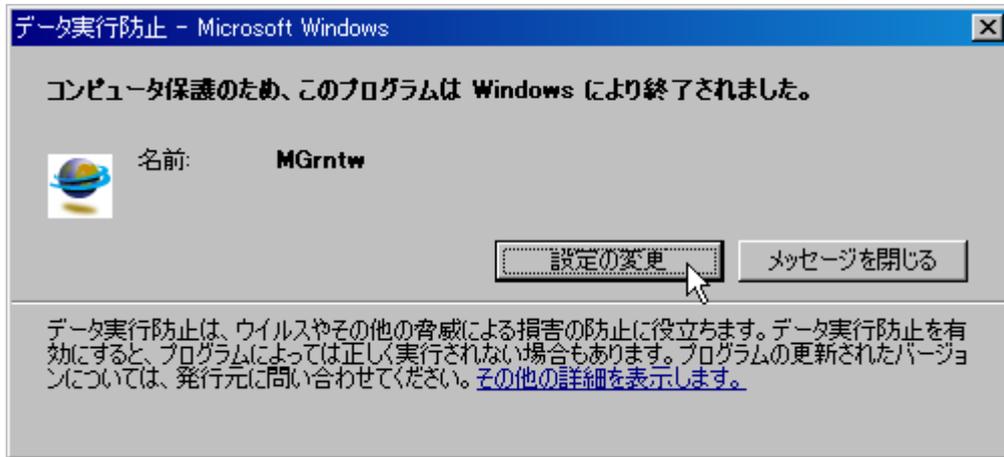


STEP4. Magic eDeveloper 製品の場合には、MGgenw.exe も同様にして除外の対象に含めてください。

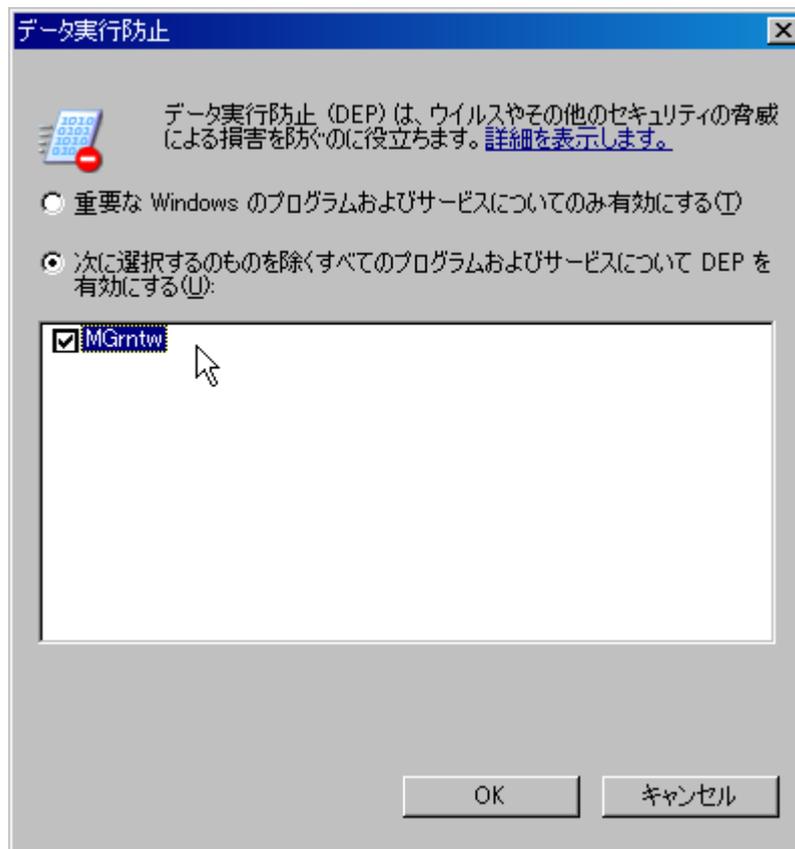
DEP 除外の方法(2)

より簡単には、次のように一度エラーを発生させて、設定を行うこともできます。

STEP1. Magic を起動します。DEP 機能が働いて **データ実行防止** ダイアログが開きますが、ここで **設定の変更** ボタンを押します。



STEP2. データ実行防止 ダイアログが出て、エラーの起こったプログラム名 (今の例では MGrntw)が除外リストに含められていますが、有効になっていないので、チェックボックスにチェックをして、除外を有効にします。



STEP3. OK ボタンを押すと、このときは異常終了しますが、次回以降は除外が有効になり正常に起動するようになります。